

暗殺の森 (1970)

IL CONFORMISTA
THE CONFORMIST [米]
LE CONFORMISTE [仏]

メディア 映画
ジャンル ドラマ サスペンス
製作国 イタリア／フランス／西ドイツ
色彩 Color
時間 115分
初公開日 1972/09/02
公開情報 C I C
映倫 G
リバイバル 1996/12 [ユーロスペース]
2015/10/31 [コピアポア・フィルム] (デジタル・リマスター版)

【キャッチコピー】

輝かしい栄光が青年を裏切る、 孤独を脱れる虚無と愛欲の日々ー 彼は暗殺者となるー
現代文学の旗手モラヴィアが描いた《孤独な青年》の愛と挫折！

【解説】

ファシズムに席卷された欧州の退廃を描く映画として、ヴィスコンティの「地獄に堕ちた勇者ども」と並んで傑出した作品。以後70年代を通じ、同種の主題を扱った映画が濫作されたが、いずれもこの両作の域には遠く及ばなかった。

若い哲学講師のマルチェロ（トランティニャン）は少年の頃、彼を犯そうとした男を射殺した罪悪感に今もさいなまれていた。その苦しみから解放されるためファシズムを選択した彼に、パリ亡命中の恩師である教授を調査するよう密命が下る。ハネムーンを口実にパリに赴いたマルチェロと妻ジュリア（サンドレリ）は、快く教授に迎え入れられた。だが、恩師の若妻アンナ（サンダ）には目的を悟られてしまい、敵意を抱かれると同時に深い仲にもなってしまう。やがて、別荘に向かう教授夫妻は、マルチェロの目前で暗殺されるのだが……。 “体制順応主義者（原題）” のいびつな生き方を、ベルトルッチはなめらかな官能で包み込み、深い余韻を与える。雪の森での暗殺シーンなど映画史に残る美しさだ。

【クレジット】

監督	ベルナルド・ベルトルッチ	Bernardo Bertolucci	
製作総指揮	ジョヴァンニ・ベルトルッチ	Giovanni Bertolucci	
原作	アルベルト・モラヴィア	Alberto Moravia	
脚本	ベルナルド・ベルトルッチ	Bernardo Bertolucci	
撮影	ヴィットリオ・ストラロ	Vittorio Storaro	
音楽	ジョルジュ・ドルリュ	Georges Delerue	
出演	ジャン＝ルイ・トランティニャン	Jean-Louis Trintignant	マルチェロ・クレリチ
	ドミニク・サンダ	foresuto	アンナ・クアドリ
	ステファニア・サンドレリ	Stefania Sandrelli	ジュリア
	ピエール・クレマンティ	Pierre Clémenti	パスクアリーノ・セミラマ
	イヴォンヌ・サンソン	Yvonne Sanson	ジュリアの母
	エンツォ・タラシオ	Enzo Tarascio	ルカ・クアドリ教授
	ジュゼッペ・アドバッティ	Giuseppe Addobbati	